

1 第2回食育推進会議での提言・発言などによる計画案の修正

（「提言・発言などの要旨」欄にある は会議での提言・発言によるもの。 は県各部署で精査したもの。）

提言・発言などの要旨	これまでの記述	修正後	ページ																																										
<p>（食を通じて健康な体をつくるための目標）</p> <p>朝食の欠食割合における目標に中学生を加えてはどうか。 中学生を加えるとともに「16～19歳」を高校生として整理し、県教育委員会調査をもとに再設定した。</p> <p>朝食の欠食割合については、男性30歳代の割合が「健康日本21あいち計画」で当初掲げた目標の15%に近づいており、より高い目標を設定した。</p> <p>肥満者の割合における児童生徒の目標については、肥満傾向児の判定基準を変え、国の定義による数値をもとにして再設定した。 性別・年齢別に身長別平均体重を求め、その平均体重の120%以上の者を肥満傾向児とする。</p> <p>“8020”に加え、より若い年代における歯の目標設定をしてはどうか。“8020”の数値を精査すること。 歯科の専門的見地から重要な年齢である3歳児、小学校3年生を加えることとし、“8020”については精査した。</p>	<p>3 食育の目標 （1）食を通じて健康な体をつくるための目標</p> <table border="1" data-bbox="1012 575 1771 1728"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>直近年</th> <th>目標(H22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝食の欠食割合 (小学生) (16～19歳)</td> <td>(H16) (1.88%) (5.4%)</td> <td>(0%) (0%)</td> </tr> <tr> <td>男性20歳代 男性30歳代</td> <td>11.6% 15.2%</td> <td>10%以下 15%以下</td> </tr> <tr> <td>肥満者の割合 児童生徒</td> <td>(H16) 2%</td> <td>1.7%以下</td> </tr> <tr> <td>20～60歳代男性 40～60歳代女性</td> <td>24.2% 15.3%</td> <td>15%以下 12%以下</td> </tr> <tr> <td>自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の割合 男性 女性</td> <td>(H16) 59.7% 64.1%</td> <td>80%以上 80%以上</td> </tr> <tr> <td>80歳で20本以上自分の歯を持つ人の割合</td> <td>(H17) 20.0%</td> <td>32%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注.()内の項目については、置き換えを予定。</p>	項目	直近年	目標(H22)	朝食の欠食割合 (小学生) (16～19歳)	(H16) (1.88%) (5.4%)	(0%) (0%)	男性20歳代 男性30歳代	11.6% 15.2%	10%以下 15%以下	肥満者の割合 児童生徒	(H16) 2%	1.7%以下	20～60歳代男性 40～60歳代女性	24.2% 15.3%	15%以下 12%以下	自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の割合 男性 女性	(H16) 59.7% 64.1%	80%以上 80%以上	80歳で20本以上自分の歯を持つ人の割合	(H17) 20.0%	32%以上	<p>3 食育の目標 （1）食を通じて健康な体をつくるための目標</p> <table border="1" data-bbox="1863 575 2653 1728"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>直近年</th> <th>目標(H22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝食の欠食割合 小学生 中学生 高校生</td> <td>(H18) 2.9% 6.1% 8.6%</td> <td>0% 3%以下 5%以下</td> </tr> <tr> <td>小学生は2学年及び5学年、中学生は2学年、高校生は全日制1～3学年と定時制1～4学年を対象とした調査による。 男性20歳代 男性30歳代</td> <td>(H16) 11.6% 15.2%</td> <td>10%以下 10%以下</td> </tr> <tr> <td>肥満者の割合 小学校2年生 小学校5年生 中学校2年生</td> <td>(H17全国平均) 5.5% 9.5% 9.3%</td> <td>5.0%以下 8.5%以下 8.3%以下</td> </tr> <tr> <td>20～60歳代男性 40～60歳代女性</td> <td>(H16) 24.2% 15.3%</td> <td>15%以下 12%以下</td> </tr> <tr> <td>自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の割合 男性 女性</td> <td>(H16) 59.7% 64.1%</td> <td>80%以上 80%以上</td> </tr> <tr> <td>健康な歯を持つ人の割合 3歳ですべての歯(乳歯)が健康な人 小学校3年生ですべての歯(永久歯)が健康な人 80歳で20本以上自分の歯を持つ人の割合</td> <td>(H16) 78.7% 77.5% (H17) 37.4%</td> <td>90%以上 90%以上 40%以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	直近年	目標(H22)	朝食の欠食割合 小学生 中学生 高校生	(H18) 2.9% 6.1% 8.6%	0% 3%以下 5%以下	小学生は2学年及び5学年、中学生は2学年、高校生は全日制1～3学年と定時制1～4学年を対象とした調査による。 男性20歳代 男性30歳代	(H16) 11.6% 15.2%	10%以下 10%以下	肥満者の割合 小学校2年生 小学校5年生 中学校2年生	(H17全国平均) 5.5% 9.5% 9.3%	5.0%以下 8.5%以下 8.3%以下	20～60歳代男性 40～60歳代女性	(H16) 24.2% 15.3%	15%以下 12%以下	自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の割合 男性 女性	(H16) 59.7% 64.1%	80%以上 80%以上	健康な歯を持つ人の割合 3歳ですべての歯(乳歯)が健康な人 小学校3年生ですべての歯(永久歯)が健康な人 80歳で20本以上自分の歯を持つ人の割合	(H16) 78.7% 77.5% (H17) 37.4%	90%以上 90%以上 40%以上	<p>15</p>
項目	直近年	目標(H22)																																											
朝食の欠食割合 (小学生) (16～19歳)	(H16) (1.88%) (5.4%)	(0%) (0%)																																											
男性20歳代 男性30歳代	11.6% 15.2%	10%以下 15%以下																																											
肥満者の割合 児童生徒	(H16) 2%	1.7%以下																																											
20～60歳代男性 40～60歳代女性	24.2% 15.3%	15%以下 12%以下																																											
自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の割合 男性 女性	(H16) 59.7% 64.1%	80%以上 80%以上																																											
80歳で20本以上自分の歯を持つ人の割合	(H17) 20.0%	32%以上																																											
項目	直近年	目標(H22)																																											
朝食の欠食割合 小学生 中学生 高校生	(H18) 2.9% 6.1% 8.6%	0% 3%以下 5%以下																																											
小学生は2学年及び5学年、中学生は2学年、高校生は全日制1～3学年と定時制1～4学年を対象とした調査による。 男性20歳代 男性30歳代	(H16) 11.6% 15.2%	10%以下 10%以下																																											
肥満者の割合 小学校2年生 小学校5年生 中学校2年生	(H17全国平均) 5.5% 9.5% 9.3%	5.0%以下 8.5%以下 8.3%以下																																											
20～60歳代男性 40～60歳代女性	(H16) 24.2% 15.3%	15%以下 12%以下																																											
自分の適正体重を維持することのできる食事量を理解している人の割合 男性 女性	(H16) 59.7% 64.1%	80%以上 80%以上																																											
健康な歯を持つ人の割合 3歳ですべての歯(乳歯)が健康な人 小学校3年生ですべての歯(永久歯)が健康な人 80歳で20本以上自分の歯を持つ人の割合	(H16) 78.7% 77.5% (H17) 37.4%	90%以上 90%以上 40%以上																																											

提言・発言などの要旨	これまでの記述	修正後	ページ																								
<p>(食を通じて豊かな心を育むための目標)</p> <p>項目名を「家族や友人と2人以上で食事をする人の割合」から「家族等と一緒に楽しく食事をする人の割合」としてはどうか。</p> <p>提言どおり修正した。</p> <p>「学校給食における地場産物を使用する割合」について、県教育委員会調査による最新の値をもとに、より高い目標を設定した。</p> <p>「農林漁業体験学習の取組を実施している市町村の割合」について、県農林水産部調査による最新の値をもとに、より高い目標を設定した。また、取組内容も分かりやすく説明した。</p>	<p>(2) 食を通じて豊かな心を育むための目標</p> <table border="1" data-bbox="1012 323 1771 919"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>直近年</th> <th>目標(H22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族や友人と2人以上で食事をする人の割合 1日最低1食、きちんとした食事を家族や友人と2人以上で楽しく30分以上かけてとる人の割合</td> <td>(H16) 62.3%</td> <td>80%以上</td> </tr> <tr> <td>学校給食における地場産物を使用する割合 (全食品数に占める県産食品数の割合)</td> <td>(H16) (22.5%)</td> <td>(30%以上)</td> </tr> <tr> <td>農林漁業体験学習の取組を実施している市町村の割合 (教育ファームの取組を自ら実施又は支援している市町村の割合)</td> <td>(H18) (36.9%)</td> <td>(60%以上)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注.()内の項目については、置き換えを予定。</p>	項目	直近年	目標(H22)	家族や友人と2人以上で食事をする人の割合 1日最低1食、きちんとした食事を家族や友人と2人以上で楽しく30分以上かけてとる人の割合	(H16) 62.3%	80%以上	学校給食における地場産物を使用する割合 (全食品数に占める県産食品数の割合)	(H16) (22.5%)	(30%以上)	農林漁業体験学習の取組を実施している市町村の割合 (教育ファームの取組を自ら実施又は支援している市町村の割合)	(H18) (36.9%)	(60%以上)	<p>(2) 食を通じて豊かな心を育むための目標</p> <table border="1" data-bbox="1863 323 2653 919"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>直近年</th> <th>目標(H22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族等と一緒に楽しく食事をする人の割合 1日最低1食、家族等と一緒に楽しく30分以上かけてとる人の割合</td> <td>(H16) 62.3%</td> <td>80%以上</td> </tr> <tr> <td>学校給食における地場産物を使用する割合 全食品数に占める県産食品数の割合</td> <td>(H17) 27.7%</td> <td>35%以上</td> </tr> <tr> <td>農林漁業体験学習の取組を実施している市町村の割合 同一作物等について2種類以上2日以上体験学習を実施している市町村の割合</td> <td>(H18) 38.1%</td> <td>80%以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	直近年	目標(H22)	家族等と一緒に楽しく食事をする人の割合 1日最低1食、家族等と一緒に楽しく30分以上かけてとる人の割合	(H16) 62.3%	80%以上	学校給食における地場産物を使用する割合 全食品数に占める県産食品数の割合	(H17) 27.7%	35%以上	農林漁業体験学習の取組を実施している市町村の割合 同一作物等について2種類以上2日以上体験学習を実施している市町村の割合	(H18) 38.1%	80%以上	16
項目	直近年	目標(H22)																									
家族や友人と2人以上で食事をする人の割合 1日最低1食、きちんとした食事を家族や友人と2人以上で楽しく30分以上かけてとる人の割合	(H16) 62.3%	80%以上																									
学校給食における地場産物を使用する割合 (全食品数に占める県産食品数の割合)	(H16) (22.5%)	(30%以上)																									
農林漁業体験学習の取組を実施している市町村の割合 (教育ファームの取組を自ら実施又は支援している市町村の割合)	(H18) (36.9%)	(60%以上)																									
項目	直近年	目標(H22)																									
家族等と一緒に楽しく食事をする人の割合 1日最低1食、家族等と一緒に楽しく30分以上かけてとる人の割合	(H16) 62.3%	80%以上																									
学校給食における地場産物を使用する割合 全食品数に占める県産食品数の割合	(H17) 27.7%	35%以上																									
農林漁業体験学習の取組を実施している市町村の割合 同一作物等について2種類以上2日以上体験学習を実施している市町村の割合	(H18) 38.1%	80%以上																									
<p>(食育を広めるための目標)</p> <p>食育推進計画を作成・実施している市町村の割合を引き上げてはどうか。</p> <p>国と同じ目標としていたが、県内市町村の「食育推進計画」作成意向調査結果を踏まえ、より高い目標を設定した。</p>	<p>(4) 食育を広めるための目標</p> <table border="1" data-bbox="1012 1110 1771 1467"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>直近年</th> <th>目標(H22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食育に関心を持っている県民の割合</td> <td>(H17) 64.8%</td> <td>90%以上</td> </tr> <tr> <td>「愛知県食育推進ボランティア」の登録数</td> <td>(H17) 388人</td> <td>500人以上</td> </tr> <tr> <td>食育推進計画を作成・実施している市町村の割合</td> <td>(H18) 0</td> <td>50%以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	直近年	目標(H22)	食育に関心を持っている県民の割合	(H17) 64.8%	90%以上	「愛知県食育推進ボランティア」の登録数	(H17) 388人	500人以上	食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	(H18) 0	50%以上	<p>(4) 食育を広めるための目標</p> <table border="1" data-bbox="1863 1110 2653 1467"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>直近年</th> <th>目標(H22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食育に関心を持っている県民の割合</td> <td>(H17) 64.8%</td> <td>90%以上</td> </tr> <tr> <td>「愛知県食育推進ボランティア」の登録数</td> <td>(H17) 388人</td> <td>500人以上</td> </tr> <tr> <td>食育推進計画を作成・実施している市町村の割合</td> <td>(H18) 0</td> <td>80%以上</td> </tr> </tbody> </table>	項目	直近年	目標(H22)	食育に関心を持っている県民の割合	(H17) 64.8%	90%以上	「愛知県食育推進ボランティア」の登録数	(H17) 388人	500人以上	食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	(H18) 0	80%以上	18
項目	直近年	目標(H22)																									
食育に関心を持っている県民の割合	(H17) 64.8%	90%以上																									
「愛知県食育推進ボランティア」の登録数	(H17) 388人	500人以上																									
食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	(H18) 0	50%以上																									
項目	直近年	目標(H22)																									
食育に関心を持っている県民の割合	(H17) 64.8%	90%以上																									
「愛知県食育推進ボランティア」の登録数	(H17) 388人	500人以上																									
食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	(H18) 0	80%以上																									
<p>年代別の取組にある乳幼児期と少年期における「家族や友人と一緒に食べることの楽しさを味わう」は、給食があり、友人よりも家族で食べるのが大事なので、「家族等と一緒に…」に表現を修正すべき。</p> <p>提言どおり修正した。</p>	<p>家族や友人と一緒に食べることの楽しさを味わう。</p>	<p>家族等と一緒に食べることの楽しさを味わう。</p>	22																								

このほか、「県や関係団体等の取組」における主な働きかけの場面(家庭、学校等、職場、地域)を精査するとともに、参考資料に掲載する資料の見直しなどを行いました。

2 パブリックコメントの状況と対応

(1) 実施期間

9月26日(火)から10月25日(水)

(2) 意見の提出状況

123名、309件

(3) 寄せられた意見の例

ア 「 あいちの目指す食育 」 について

食べ物があふれる現代の子どもに空腹という状態がいかに大変なことか全く理解できないと思う。人は食べて生きられるということを学ぶことが食育の一步だと思う。数値目標を設定したことは評価できるが、ややもすると数字だけをよくすることが起きるので注意したい。メタボリックシンドロームの基準が発表されたことにより、食生活と健康維持について注目を集めている。今こそ早急に食事の重要性を認識させる施策推進を望む。目標の課題設定をすべて数値で計ろうとすることに無理がある。食育自体が曖昧なものだから、きちりとした数字での把握はむずかしいと思う。方向も目標も十分な内容だと思う。目標の実現に向けてさらに工夫を願う。 など

イ 「 県民の主体的な取組 」 「 県や関係団体等の取組 」 について

日本古来からの和食が日本人の体にバランス良く栄養的にも優れている点をもっとPRして欲しい。「おうちでごはんの日」は、食育計画の中で、一番素晴らしい提案だと思う。少し細かく指摘しすぎであり、かえってポイントがぼやけ気味である。(県が行う催しは名古屋市が多いが) もっと市単位でも催し物を増やして欲しい。県と市とでは連携するべきである。取組の働きかけ先として「職場」を加えたことは目標数値達成にとっても効果があると思う。家庭、学校、地域に比べて推進意識が低いと思う。 など

ウ その他の意見

食育の計画をつくるということ自体が持つ意味がある。それをわかる人がどれほどいるのか。内容云々よりも前に計画を作ること、作らなければならないということをお知らせして欲しい。毎日食している食材について安心ができるようお願いしたい。「食育」といわれるとかしこまってしまっているので、やさしく、わかりやすく進めて欲しいと思う。今回の食育推進計画を知り、うれしく思うとともに、私たちもさらに前進できるようがんばりたいと思う。そして、自分の子や孫が自分の作った野菜を給食で食べられたら、どんなに農業のやりがいがあるかと思う。(食育を) 行政がやる意味がよくわからない。個人の問題ではないのだろうか。 など

(4) パブリックコメントによる計画への反映

寄せられた意見	これまでの記述	修正案	ページ
<p>(目標が)もし達成していなくても、ごまかしてしまえるようなものではなく、だめならだめでしっかりと反省できるようにして欲しい。</p>	<p>-</p>	<p>「計画作成の基本的な考え方」の「3 計画の推進」に目標の取扱い等について追記する。</p> <p>また、多様な関係者による食育に関する様々な取組の状況を把握するとともに、「あいちの目指す食育」の「3 食育の目標」に掲げた数値目標につきましては、必要な調査を実施し、その達成状況を検証します。そして、これらを踏まえ、それまでに実施した取組を改善するなど、効果的な食育の推進に努めます。</p>	<p>3</p>
<p>「公立小中学校の完全給食実施率100%」とあるが、名古屋市という大きな都市でさえ、まだまだ中学校で完全給食になっていないので、一刻も早く完全給食になって欲しい。</p>	<p>充実した学校給食 愛知県の学校給食は、公立小中学校の完全給食実施率が100%と全国トップレベルにあるなど充実しています。</p>	<p>「完全給食」の説明を追記する。</p> <p>充実した学校給食 愛知県の学校給食は、公立小中学校の完全給食の実施率が100%と全国トップレベルにあるなど充実しています。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>完全給食 主食と牛乳と副食がそろった給食を言います。県内の公立小中学校においては、完全給食を100%実施できる体制になっていますが、一部では、弁当の持参も可能とされています。</p> </div>	<p>12</p>
<p>「食事のマナーを身に付けましょう」で、食事のマナーは、はしの持ち方、使い方だけではないので、例示の文面を変えた方がよいのではないか。</p>	<p>食事のマナーを身に付けましょう 食事のマナーは、きれいに食べるためや一緒にいる人に不快感を与えず、みんなで楽しく食事をするためのものです。はしを正しく持ち、使い方に気をつけるなどの食事のマナーを身に付けましょう。</p>	<p>はし以外の例を加えて記述する。</p> <p>食事のマナーを身に付けましょう 食事のマナーは、きれいに食べるためや一緒にいる人に不快感を与えず、みんなで楽しく食事をするためのものです。背筋を伸ばして座る、ひじをついて食べない、はしを正しく持ち、使い方に気をつけるなどの食事のマナーを身に付けましょう。</p>	<p>20</p>

寄せられた意見	これまでの記述	対応、修正の案	ページ
<p>「子どもの肥満予防の推進」、「学校医、学校歯科医、学校薬剤師による学校保健の充実」、「歯の大切さについての啓発活動の推進」の3つは、肥満予防やむし歯予防が重複しているし、分野も重複している。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注、家、学、職、地の表記 それぞれ食育を働きかける場面としての「家庭」、「保育所・幼稚園・学校等」、「職場」を示します。 また、それ以外の広範にわたる対象をとらえたものを「地域」としています。</p> </div>	<p>子どもの肥満予防の推進 家 学 子どもの肥満予防を推進するため、肥満予防マニュアルの配布や親子を対象にした講演会などを実施します。</p> <p>学校医、学校歯科医、学校薬剤師による学校保健の充実 学 学校医、学校歯科医等による園児・児童生徒の健康診断等を通じた肥満の防止やむし歯の予防を指導します。</p> <p>また、学校保健委員会等の充実を図り、児童生徒及び保護者の健康に対する意識を高め、生活習慣病等の予防に努めます。</p> <p>歯の大切さについての啓発活動の推進 家 学 職 地 園児や児童生徒の時期は、乳歯から永久歯へ生え替わる重要な時期です。園児・児童生徒や保護者に正しい歯のみがき方を啓発するとともに、歯の役割や全身の健康との関わり、「8020」の意義などについて、広く啓発活動を推進します。</p>	<p>「子どもの肥満予防の推進」、「学校医、学校歯科医、学校薬剤師による学校保健の充実」を統合するとともに、全体の記述を整理する。</p> <p>子どもの肥満予防等の推進 家 学 学校医による健康診断結果を踏まえて、関係者が園児・児童生徒の肥満予防を指導します。</p> <p>また、学校医、学校歯科医、学校薬剤師による学校保健活動の推進を図るとともに、学校保健委員会等を充実し、児童生徒及び保護者の健康に対する意識を高め、生活習慣病等の予防に努めます。</p> <p>歯の大切さについての啓発活動の推進 家 学 職 地 園児や児童生徒の時期は、乳歯から永久歯へ生え替わる重要な時期です。学校歯科医による健康診断結果を踏まえ、関係者が園児・児童生徒や保護者へのむし歯・歯肉炎予防の指導や正しい歯のみがき方の啓発を行います。</p> <p>また、歯の役割や全身の健康との関わり、「8020」の意義などについて、広く啓発活動を推進します。</p>	30
<p>「栄養価の高い野菜」が、このレポートで唯一理解できない言葉。微量栄養素が豊富ということか。</p>	<p>健康増進効果のある農産物の開発と普及 地 県農業総合試験場において、健康志向に対応した栄養価の高い野菜を開発するとともに、その普及を推進します。</p>	<p>具体例をあげて、記述を修正する。</p> <p>健康増進効果のある農産物の開発と普及 地 県農業総合試験場において、健康増進に有効といわれている成分（ポリフェノール、カロテン、ビタミン等）を通常より多く含む野菜を開発するとともに、その普及を推進します。</p>	30

寄せられた意見	これまでの記述	対応、修正の案	ページ
<p>「 “ おうちでごはんの日 ” (仮称)の設定と普及」と「 食育に関する調査の実施」について、学校でも取り組むべきではないか。</p> <p>注、家 学 職 地 の表記 それぞれ食育を働きかける場面としての「家庭」、「保育所・幼稚園・学校等」、「職場」を示します。 また、それ以外の広範にわたる対象をとらえたものを「地域」としています。</p>	<p>“ おうちでごはんの日 ” (仮称)の設定と普及 家 職 地</p> <p>「食育の日」にあわせて、毎月19日を“ おうちでごはんの日 ”(仮称)として設定し、家族や友人と一緒にきちんとした食事をとることを普及啓発します。</p> <hr/> <p>食育に関する調査の実施 地</p> <p>県民の食生活や健康に関する状況などを把握し、食育の推進に資するための調査を実施します。</p>	<p>普及の一環として整理し、学を加える。 “ おうちでごはんの日 ” (仮称)の設定と普及 家 学 職 地</p> <hr/> <p>計画案の作成にあたり、目標設定の基礎として調査を実施するなどしており、学を加える。 食育に関する調査の実施 学 地</p>	<p>3 3</p> <hr/> <p>4 3</p>
<p>地域の伝統的な品種の保存にも力を注ぐことについて追加して欲しい。</p>	<p>伝統料理等の継承 家 地</p> <p>愛知の伝統料理や食に関係する祭礼・民俗芸能等のデータを収集するとともに、栄養士・管理栄養士や食生活改善推進員、愛知県食育推進ボランティアが行う料理教室等において伝統料理等を取り入れるなどの取組を進めます。</p> <p>また、イベント等において、愛知の伝統料理や食文化等を紹介したり、体験できる機会を設けます。</p>	<p>取組の「伝統料理等の継承」に盛り込む。 伝統料理等の継承 家 地</p> <p>愛知の伝統料理や伝統的な作物等のデータを収集し、それらをPRするとともに、栄養士・管理栄養士や食生活改善推進員、愛知県食育推進ボランティアが行う料理教室等において、伝統料理を取り入れるなどの取組を進めます。</p> <p>また、イベント等において、愛知の伝統料理や食文化等を紹介したり、体験できる機会を設けます。</p>	<p>3 6</p>
<p>「子どもの環境に配慮した体験活動の促進」は、子どもだけでよいか。</p> <p>県の取組の「子どもの環境に配慮した体験活動の促進」は、子どもだけに限っているのか。大人もやるべきではないか。</p>	<p>子どもの環境に配慮した体験活動の促進 学 地</p> <p>子どもたちが、食を通して環境について考え、環境に配慮した行動ができるよう、食品廃棄物の再生利用にかかる体験活動に取り組んだり、「菜の花エコプロジェクト」などの取組に参加することなどを促します。</p>	<p>「子どもの」を削除し、一般対象として記述を修正する。</p> <p>環境に配慮した体験活動の促進 学 地</p> <p>食を通じて環境について考え、環境に配慮して行動することが広がるよう、食品廃棄物の再生利用にかかる体験活動や「菜の花エコプロジェクト」の取組への参加などを促します。</p>	<p>3 7</p>
<p>取組がとても広範囲にまたがっており、関係者もいろいろあると思うので、連絡先などを示した方がよい。</p> <p>取組は一つのところ（食育推進課）に聞けばわかるのか。問い合わせしたい取組があるが。</p>	<p>-</p>	<p>参考資料の最後に、県や関係団体の連絡先等を掲載する。</p>	<p>6 1</p>

(5) その他の修正

提言の要旨	これまでの記述	修正後	ページ
<p>世代別の取組のうち「(6) 高齢期(65歳頃以上)」のこの時期のポイントにある「歯周病で歯を失わないよう、自分に合った歯みがきを続ける。」を「自分に合った歯みがきを続け、食事のときにかみにくいと感じたら、放置しないよう心がける。」に修正する。(県歯科医師会) 提言どおり修正した。</p>	<p>歯周病で歯を失わないよう、自分に合った歯みがきを続ける。</p>	<p>自分に合った歯みがきを続け、食事のときにかみにくいと感じたら、放置しないよう心がける。</p>	<p>24</p>

3 計画の名称、スローガン(案)

(1) 計画の名称について

計画の正式名称は、「愛知県食育推進会議条例」に「愛知県食育推進計画」を作成するとあることから、「愛知県食育推進計画」とするが、県民の方々に親しみ感をもっていただくため、通称を「あいち食育いきいきプラン」とする。

(2) スローガン(標語)について

食育を県民運動として展開していくに当たっては、県民一人ひとりの主体的取り組みが基本であることから、食育推進への参加意識を高めるために、広く県民からスローガン(標語)募集を行うこととする。

4 計画のPR等

(1) 年内に、計画書及び概要版を印刷し、配布する。(食育推進ポスターを同時に作成・配布予定)

【主な配布予定先】

市町村(市役所・役場)、教育関係(小学校・中学校・高等学校等)、医療・保健関係(医院・歯科医院・薬局等)、農林漁業関係(農協・漁協等)、食品関連事業関係(チェーンストア・食品関係企業等)、労働組合、県経営者協会加盟企業等

(2) 計画全文及び概要について、インターネットの県ホームページ上に掲載する。

(3) 県内3か所での説明会の開催(1~2月)や各種の会合等を通じた説明とPRを実施する。